

評価年度

令和 5 年度

1. 基本情報

公の施設名	利府町東部児童館
指定管理者名	シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社
指定期間	令和5年4月1日～令和9年3月31日
施設設置条例	利府町児童館条例（平成22年8月3日）
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにするため、児童福祉法第35条第3項の規定に基づき、児童福祉施設として利府町児童館を設置する。
施設概要	・場 所：利府町葉山一丁目3番地1 ・敷地面積：1,526.78㎡ ・建物概要：鉄筋造2階 延床面積 497.75㎡ ・主な施設：遊戯室、集会室、児童クラブ室、乳幼児室、事務室
施設所管課	利府町 保健福祉部 子ども支援課

2. 管理実績(年間)

項目(単位)	令和5年度				
【参考】来館者数合計(人)	9,404				
【参考】利用料金収入合計(円)	0				

3. 成果指標の達成度

指標 1

指標名(単位)	年間利用者(来館者)数の増加(人)
指標式と指標の説明	乳幼児1,186名・小学生6,755名、中学生480名、高校生5名、一般978名の利用実績

項目(単位)	令和5年度				
目標値(人)	8,000				
実績値(人)	9,404				
達成度(%)	117.6%				

評価(5段階)	評価理由
S	初年度の目標値(指標)を大幅に達成している。

4. 事業の実施状況

(1) 指定事業

主な事業名	実施時期	内容
児童館事業 ・小学生対象事業 ・中学生高校生対象事業 ・全来館者対象事業 ・地域連携事業	毎月	以下に、詳細な内容を記載している。
児童クラブ事業	毎月	
子育て広場事業	毎月	
その他事業	年合計8回	
地域連携事業（児童館事業）		
おもちゃ病院「くまさん」	偶数月	おもちゃ病院の方に、地域の子どもたちが使っているおもちゃの修理を行っていただき、身の回りのものを大切に使えるようにする。
子育てハッピー広場	5月・9月・3月	乳児検診に合わせて、ミニ子育て広場を子育て支援拠点現場で連携して行い、親子の孤立を減らし、町内の子育て親子の育児を支援する。

(2)提案事業

主な事業名	実施時期	内容
小学生対象事業（児童館事業）		
チャレンジランキング	4～7月・9月 11月・2月 3月	簡単なゲームをみんなで楽しみ競い合う。
あそびクラブ	月1回	・様々な素材に触れながら、個々のイメージを大切に製作を楽しむ。 ・みんなで体を動かして、いろいろな遊びを楽しむ。
こども会議	5月～2月	子どもたちの考えや想いを定期的に聞く機会を作り、よりよいじかんを過ごせるように環境を整えていく。
中高生タイム	月1回	児童館が居場所として認識されるように、中高生が自由にのびのびと過ごせる時間と場所を確保する。
中学生高校生対象事業（児童館事業）		
こども会議	月1回	子どもたちの考えや想いを定期的に聞く機会を作り、よりよいじかんを過ごせるように環境を整えていく。
中高生ボランティア受け入れ	随時	中高生にスタッフ側の仕事を体験してもらい、一緒に施設を盛り上げる仲間という認識を持ってもらう。また、中高生の居場所として確立していく。
全来館者対象事業（児童館事業）		
児童館まつり	10月	児童館を会場にして幅広い年代が関わり、あそびを楽しむ 令和5年度は、「おばけやしき」「魔女の帽子づくり」「先生たちのお店屋さん」「目玉はこび」「射的」のブースを設置した。
クリスマス会	12月	児童館を会場にして幅広い年代が関わり、クリスマスらしいイベントを楽しむ。
児童クラブ事業		
こどもエコクラブ	5月～12月	・季節に合わせた野菜などをみんなで育て、食べ物大切さを知る ・児童館周辺の清掃をしたり、絵画コンクールへの参加を通して、身の回りの環境に興味をもつ。
オンラインチャンネル参加	1月・2月・3月	・Zoomを通して地域外の仲間との交流を楽しむ。 ・自分の特技などを発表することを通して、自分に自信をもつ。
チャレンジランキング	4～7月・9月 11月・2月 3月	簡単なゲームをみんなで楽しみ競い合う。
あそびクラブ	月1回	・様々な素材に触れながら、個々のイメージを大切に製作を楽しむ。 ・みんなで体を動かして、いろいろな遊びを楽しむ。
こども会議	5月～2月	子どもたちの考えや想いを定期的に聞く機会を作り、よりよいじかんを過ごせるように環境を整えていく。
お誕生会	月1回	年に1度の誕生日をみんなで喜び一緒にお祝いをする。
季節イベント	4月・10月 12月・1月	季節に合わせた遊びを提供し、友だちと一緒に1つの活動に参加する楽しさを味わう。令和5年度は、「桜を咲かせよう」「児童館まつり」「クリスマス会」「初詣へいこう」を実施した。
子育て広場事業		
幼児クラブ	5月～2月	・同年代の子どもを持つ保護者同士が交流を持ち、親子共に仲間づくりができるよう支援する。 ・家でも楽しめるふれあい遊びや季節の製作などを親子で一緒に楽しむ。
おはなし広場	4～10月 12月～3月	・絵本や紙芝居、パネルシアター、エプロンシアターなど様々な方法での読み聞かせを楽しむ。
にこにこサロン	4月・6月～3月	・子育て中の保護者の悩みに寄り添い、リフレッシュしてもらう。 ・季節に合わせたイベントを楽しむ。 ・保護者の方のニーズに合わせた、「食」や「健康」「発達」など子育てにかかわる情報配信を行う。

作ってわくわく	月1回	・季節を感じる製作を親子で楽しみ、お子さんの成長を喜ぶ。
お誕生会	5月・7～10月 12月・1月	・子どもの成長をみんなで喜び、一緒にお祝いする。
おさがりマルシェ	12月	各家庭で不要となったものを持ち寄り、子育て中の家庭で有効活用できるようにする。
その他事業		
利用者アンケート	11月	利用者の声を聴くアンケートをとり、利用者のニーズに合った施設運営が出来るようにする。
避難訓練	6月・11月・1月	・非常時に備え、職員同士、利用者の皆さんと避難の方法を確認していく。 ・施設内の安全環境を整備していく。

(3)自主事業

主な事業名	実施時期	内容
子育て広場事業 ・あそび広場	7月から 毎月1回	・午後の時間も遊べることを周知する。 ・幼稚園・保育園終わりでも楽しめるイベントを提供する。
子育て広場事業 ・水遊び	7月・8月 随時	施設の外にあるテラスを活用し、テラスの下で水遊びを行い、夏の暑さを和らげるとともに、夏の楽しさを夏の楽しさを知ってもらう。
地域連携事業 ・葉山地区なつまつりへの参加	8月	葉山地区で行う夏祭りの開催に合わせて、児童館テラスにて無料で楽しめるゲームを行った。
児童クラブ事業 ・オンライン工場見学	8月・3月	8月は「ヤクルト販売株式会社」の方と、3月は「ポケモン」の方と協力し、オンラインにて工場見学を行った。

評価（5段階）	評価理由
A	指定管理者初年度ではあるが、各種様々な事業展開を行っていた。

5. 利用者の満足度

(1)利用者満足度調査

調査手法/回答数	質問紙・Googleフォームへの回答により実施 小学生7人、中学生1人、乳幼児保護者4人、児童クラブ登録児童保護者10人
目標値の基準	年間2回のアンケートの実施

項目(単位)	令和5年度				
目標値(%)	2.0%				
実績値(%)	1.0%				
達成度(%)	50.0%				

(2)その他の取り組み

取組事項	時期	内容
児童用アンケート	11月	8名の回答（施設：とても好き2件、まあ好き3件、普通3件）（行事：とても好き4件、まあ好き2件、普通2件）（環境：そう思う5件、普通3件）（設備：そう思う4件、まあそう思う1件、普通3件）
保護者用アンケート	11月	4名の回答（職員：満足4件）（行事：満足3件・やや満足1件）（環境：満足2件、やや満足2件）
児童クラブ保護者アンケート	11月	10名の回答（職員：満足5件、やや満足1件、普通1件、やや不満3件）（行事：満足7件、普通2件、やや不満1件）（環境：満足7件、やや満足2件、普通1件）

評価（5段階）	評価理由
B	当初の計画で年2回アンケートを計画していたが、実際は1回であった。一定の評価を頂いているものの、サンプル数が少ないので、分析をすることが難しいと感じる。

6. 経営状況

(1)施設の収支概要

項目	令和5年度予算	令和5年度決算	予算決算比
収入 (a)	39,240	35,530	-3,710
指定管理料	39,240	35,530	-3,710
利用料金収入	0	0	0
(うち、減免補填額)	0	0	0
事業収入	0	0	0
その他の収入	0	0	0
支出 (b)	39,240	35,530	-3,710
人件費	29,904	24,659	-5,245
事務事業費	3,200	2,252	-948
役務費	370	242	-128
使用料/賃借料	396	506	110
維持管理費	324	106	-218
その他の支出	5,046	7,765	2,719
収支 (a)-(b)	0	0	0
備考			

(2)指定管理団体(各社)の財務状況

財務状況	初年度の運営としては健全な財政状況である。
------	-----------------------

評価 (5段階)	評価理由
A	光熱水費なども高騰している中、指定管理料の範囲内で運営しているので適正である。

7. 管理業務の履行状況

検査方法	利府町保健福祉部子ども支援課職員が、現地調査によるヒアリング及び資料や施設を確認し、実施した。
実施時期	令和6年6月24日実施

検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正	
危機管理	適正	
人員配置・地元活用	適正	
現金管理	適正	
会計・経理	適正	
情報セキュリティ	適正	
情報公開・個人情報保護	適正	
町への報告事項・事前承認等	適正	

加点事由	具体的内容
有	社内専用マニュアルの設置と理解度確認のためのe-ラーニングにより動画視聴研修を実施した。

評価（5段階）	評価理由
S	常に、安全管理を行いながら、積極的に各種事業を行っていた。

8. 指定管理者の自己評価（自己アピール）

自己評価点数	年間の事業計画と事業内容に対し、利用者の利用状況や満足度も一定の評価を得た。指定事業は子育て事業について、実施は行ったものの、参加数が一定以上の結果を残せなかったことが課題である。提案事業は各種実施計画に対し、履行状況は一定の実施回数を行うも、チャレンジランキング、子ども会議、中高生タイムが計画以下の実施であった。
58	
自己総合評価	
A	

9. 所管課意見

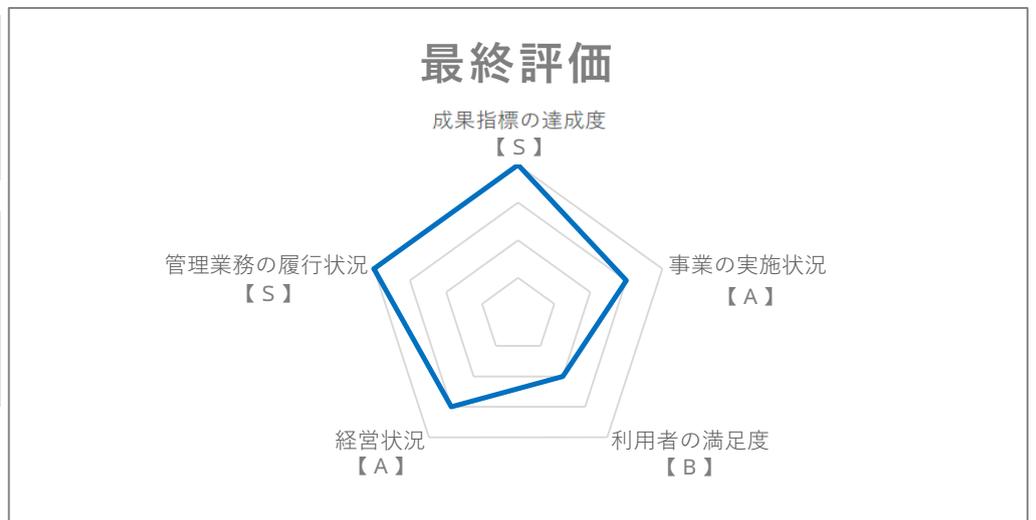
指定管理者初年度で、新しく運営していくことに苦慮していたと思う。しかし、新型コロナウイルス感染症が5類へ移行になり、安全対策を考慮しながら、新しいことにチャレンジする姿が見られ、参加された方々の一定の評価があったものと感じている。

また、東部児童館のInstagramを開設し、積極的に情報発信を行い、利用者増に繋がった状況である。

しかしながら、利用者アンケートの回数が当初予定回数より少なく、またサンプル数も少なかったため、手法について再度検討し、今後の児童館運営に活かしていただきたい。

最終評価

総合点数
80
最終評価
A



評価年度

令和 5 年度

1. 事業実施状況

(1) 指定事業

評価（◎：良い ○：普通 △：不十分）

事業名	計画回数	実施回数等（詳細は別添の事業報告シート）	自己評価	町評価
児童館事業 ・小学生対象事業 ・中学生高校生対象事業 ・全来館者対象事業 ・地域連携事業	62回	以下に、事業毎に詳細な報告を記載している。	○	○
児童クラブ事業	56回		○	○
子育て広場事業	59回		△	△
その他事業	8回		△	△
地域連携事業（児童館事業）				
おもちゃ病院「くまさん」	6回	毎回の目標値を1人と設定し、6回実施した。 結果、6回合計で10人参加し、参加率は167%であった。子育て広場に遊びにきたかたに声をかけたことで、参加率があがっていた。	◎	◎
子育てハッピー広場	3回	PR活動を2回、広場の案内係を1回行った。参加者は、その時に検診対象になっている方に向けてのため、目標値の設定はしていない。PR活動を行った際には、紹介した手遊びを、待ち時間の際に親子で遊んでいる姿がたくさん見られた。	◎	◎
評価点			12	12

(2) 提案事業

事業名	計画回数	実施回数等（詳細は別添の事業報告シート）	自己評価	町評価
小学生対象事業（児童館事業）				
チャレンジランキング	12回	毎回の目標値を10人と設定し、8回実施した。 結果、8回合計で174人参加したが、予定回数の67%しか実施できなかった。	△	△
あそびクラブ	12回	毎回の目標値を10人と設定し、12回実施した。 結果、12回合計で154人参加し、参加率は129%であった。子ども会議で子どもたちから聞いた意見を取り入れることで、参加率が上がった。	◎	◎
こども会議	12回	毎回の目標値を5人と設定し、11回実施した。 結果、11回合計で154人参加したが、予定回数の92%しか実施できず、内1回は0人の参加であったため、実質実施率は84%であった。	△	△
中学生高校生対象事業（児童館事業）				
中高生タイム	12回	毎回の目標値を2人と設定し、12回実施した。 結果、12回合計で26人参加したが、12回の内1回は0人の参加であったため、実質実施率は92%であった。	△	△
こども会議	12回	毎回の目標値を5人と設定し、11回実施した。 結果、11回合計で154人参加したが、予定回数の92%しか実施できず、内1回は0人の参加であったため、実質実施率は84%であった。	△	△
中高生ボランティア受け入れ	随時	児童館祭りに向けて目標値を2人とし、結果、5人がボランティアをしてくれ、参加率は250%であった。児童館祭り以外にも、乳幼児や小学生のあそびに一緒に入ってくれ、小学生も中高生ボランティアの人たちが来るのを楽しみにしていた。	◎	◎
全来館者対象事業（児童館事業）				
児童館まつり	1回	目標値を50人と設定して、実施した。 結果、70人が参加し、参加率は140%であった。ポスターを地域の回覧板で回していただいたり、いろんな場所に貼っていただいて宣伝活動したことや、乳幼児の保護者の方・小学生の口コミで広まり、参加者が増え、来館した人はみんな楽しんでいる様子であった。	◎	◎
クリスマス会	1回	目標値を30人と設定して、実施した。 結果、34人が参加し、参加率は114%であった。仙台白百合大学の聖歌隊の方にご協力いただき、地域の学生の活動の幅をひろげたり、児童同士の交流につながった。	◎	◎
児童クラブ事業				
こどもエコクラブ	5回	児童クラブ登録児童は全員参加のため、目標値の設定はしていない。実施回数は11回で、実施率は220%であった。子ども会議で出た要望を取り入れ、児童館前でお花やさつまいもを育てたり、地域の会社にご協力いただき、利府町に住んでいるならでのイベントが実施できた。	◎	◎
オンラインチャンネル参加	随時	毎回の目標値を3人と設定していたが、4月からの実施は出来ず、2024年1月からの実施となってしまった。その中で結果、11回実施し、48人が参加、参加率は146%であった。	○	○
チャレンジランキング	12回	毎回の目標値を10人と設定し、8回実施した。 結果、8回合計で174人参加したが、予定回数の67%しか実施できなかった。	△	△
あそびクラブ	12回	毎回の目標値を10人と設定し、12回実施した。 結果、12回合計で154人参加し、参加率は129%であった。子ども会議で子どもたちから聞いた意見を取り入れることで、参加率が上がった。	◎	◎
こども会議	12回	毎回の目標値を5人と設定し、11回実施した。 結果、11回合計で154人参加したが、予定回数の92%しか実施できず、内1回は0人の参加であったため、実質実施回数は84%であった。	△	△
お誕生会	12回	児童クラブ登録児童は全員参加のため、目標値の設定はしていない。実施回数は11回であったが、内1回はそもそも児童クラブ登録児童の中に、お誕生日がいない月があったため、実施していない。 自分のお誕生日を児童クラブでお祝いされたことがなかったようで、もらった誕生カードをうれしそうに眺めていたり、みんなの前で照れながらも喜んでいたりする姿がみえた。	◎	◎
季節イベント	2回	児童クラブ登録児童は全員参加のため、目標値の設定はしていない。実施回数は4回で、実施率は200%であった。その中でも、新年に行った「初詣にいこう」では、日本の文化に触れることができ、とてもいい経験になっていた。	◎	◎

子育て広場事業				
幼児クラブ	10回	毎回の募集定員を10組とし、10回実施した。結果、10回合計で67組の参加で、参加率は56%であった。	△	△
おはなし広場	12回	毎回の募集定員を設定せず、目標値として乳幼児2人と設定し、12回実施した。結果、内1回が0人の参加であったため、実施率が92%、参加者は11回合計で25人で、参加率は114%であった。	△	△
にこにこサロン	12回	毎回の募集定員を10組とし、12回実施した。結果、内1回が0人の参加であったため、実施率が92%、参加者は11回合計で64組で、参加率は59%であった。	△	△
作ってわくわく	12回	毎回の募集定員を乳幼児10人とし、12回実施した。結果、12回合計で85人の参加で、参加率は71%であった。	△	△
お誕生会	12回	毎回の募集定員を設定せず、目標値として乳幼児2人と設定し、12回実施した。結果、内5回が0人の参加であったため、実施率59%、参加者は7回合計で12人の参加で、参加率は50%であった。	△	△
おさがりマルシェ	1回	目標値を10組と設定し、実施した。結果、当日は15組が参加し、参加率は150%であった。また、葉山全体にチラシを配ったことで、普段児童館を利用しない世代の方にも、参加してもらえた。	◎	◎
その他事業				
利用者アンケート	2回	乳幼児保護者・小学生・中高生・児童クラブ登録児童保護者を対象に、アンケートを1回実施した。	△	△
避難訓練	6回	その時の全来館者を対象として行ったため、目標値の設定は行っていない。結果、実施は3回、実施率は50%であった。ただ、その3回の中で、職員は消火・通報訓練などを行い、実践に近い形でできた。	△	△
評価点			42	42

(3)自主事業

事業名	実施時期	内容・回数・参加者等
子育て広場事業 ・あそび広場	7月から 毎月1回	保育園・幼稚園に通っている乳幼児を対象に、15:00～16:00でイベントを開催した。実施回数は、7月から9回である。子育て広場が午後でも利用できる場所だと知っている保護者の方が少なかったが、このイベントを開催後、午後の利用率があがった。
子育て広場事業 ・水遊び	7月・8月	施設の外にあるテラスを活用し、テラスの下で水遊びを行った。実施は、7・8月の午前とし、希望がある場合に実施した。日陰で水遊びが出来ることや水遊び道具が揃っていることから幅広い年齢の乳幼児さんが利用してくれた。
地域連携事業 ・葉山地区なつまつりへの参加	8月	葉山地区で行う夏祭りが、令和5年度からコロナ前の体制で大規模に開催するというお話をお伺いし、児童館テラスにて無料で楽しめるゲームを2つ実施した。当日はゲームだけではなく、児童館内が涼むことができる場所として、たくさんの方に利用していただいた。
児童クラブ事業 ・オンライン工場見学	8月・3月	8月は「ヤクルト販売株式会社」の方と、3月は「ポッカレモン」の方と協力し、オンラインにて工場見学を行った。どちらも宮城県内にある施設しか参加できないもので、とてもいい経験になっていた。

自己評価集計	事業数	基礎点	実績点
指定事業	6	12	12
提案事業	23	46	42
自主事業	4		4
合計	33	58	58
町評価集計	事業数	基礎点	実績点
指定事業	6	12	12
提案事業	23	46	42
自主事業	4		4
合計	33	58	58

2. 事業の実施状況総合評価

自己評価（5段階）	自己評価理由	評価（%）
A	<p>年間の事業計画と事業内容に対し、利用者の利用状況や満足度も一定の評価を得た。指定事業は子育て事業について、実施は行ったものの、参加数が一定以上の結果を残せなかったことが課題である。提案事業は各種実施計画に対し、履行状況は一定の実施回数を行うも、チャレンジランキング、子ども会議、中高生タイムが計画以下の実施であった。</p>	100%

町評価（5段階）	町評価理由	評価（%）
A	<p>指定管理者初年度で、新しく運営していくことに苦慮していたと思う。しかし、新型コロナウイルス感染症が5類へ移行になり、安全対策を考慮しながら、新しいことにチャレンジする姿が見られ、参加された方々の一定の評価があったものと感じている。特に子育て広場については、リピーターが多く、また新たに午後にも広場を行う等、利用者からの声を反映しているものである。</p> <p>また、東部児童館のInstagramを開設し、積極的に情報発信を行い、利用者増に繋がった状況である。フォロワーも順調に増えてきている。</p> <p>しかしながら、利用者アンケートの回数が当初予定回数より少なく、またサンプル数も少なかったため、手法について再度検討し、今後の児童館運営に活かしていただきたい。</p>	100%

【参考】活動状況等の写真

『利用者の様子』



『絵本読み聞かせ会の様子』

